

小学四年国語

小学四年国語	「漢字の書き	①	1
小学四年国語	「漢字の書き	②	2
小学四年国語	「漢字の書き	③	3
小学四年国語	「送りがな	①	4
小学四年国語	「送りがな	②	5
小学四年国語	「漢字辞典	①	6
小学四年国語	「漢字辞典	②	7
小学四年国語	「漢字辞典	③	8
小学四年国語	「漢字辞典	④	9
小学四年国語	「ローマ字	①	10
小学四年国語	「ローマ字	②	11
小学四年国語	「ローマ字	③	12
小学四年国語	「熟語の構成	①	13
小学四年国語	「熟語の構成	②	14
小学四年国語	「熟語の構成	③	15
小学四年国語	「物語文の読解	①	16
小学四年国語	「物語文の読解	②	17
小学四年国語	「物語文の読解	③	18
小学四年国語	「物語文の読解	④	19
小学四年国語	「説明文の読解	①	20
小学四年国語	「説明文の読解	②	21
小学四年国語	「説明文の読解	③	22
小学四年国語	「説明文の読解	④	23
小学四年国語	「説明文の読解	⑤	24
小学四年国語	「文末のそろえかた	①	25
小学四年国語	「文末のそろえかた	②	26

月
日

小学四年国語 「漢字の書き」①

年 組 名前

言葉の意味を覚えましょう。

「積極的」 自分から進んでものごとを行う様子

⇔

「消極的」



ポイント

学年が上がるにつれて、画数の多い漢字をたくさん習います。

教科書の終わりのページののっている漢字の表の中で、十画より多い漢字を、ていねいに書いてみましょう。

★書き順を確かめておきましょう。

★部首に注意して覚えましょう。

「積」の部首・・・のぎへん

「極」の部首・・・きへん

「とめ」や「はね」に注意しながら練習しましょう。

積 積 積 積 積
極 極 極 極 極

★問題1

次の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。

- ① クラス委員をえらぶ。
- ② あつい湯を注ぐ。
- ③ さくらの花がちる。
- ④ 肉をフライパンでやく。
- ⑤ たなの上におく。

⑤	④	③	②	①
置	焼	散	熱	選
(く)	(く)	(る)	(い)	(ぶ)

小学四年国語 「漢字の書き」②

年 組 名前

★問題2

次の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。

- ① 学級会のぎだいは、「そうじ当番」です。
- ② 北海道にひこうきで行った。
- ③ ほうかごに遊ぶ約束をした。
- ④ 商売で成功しておくまんちようじゃになった。
- ⑤ 食べすぎて、いちようやくをのんだ。

⑤	④	③	②	①
胃腸薬	億万長者	放課後	飛行機	議題

★問題3

次の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。

- ① 出合いの場面がいんしょうてきだった。
- ② 電池を使ったじっけんをした。
- ③ 社会科見学で、はくぶつかんに行った。
- ④ けんこうのために、毎日運動しましょう。
- ⑤ メダカをかんきつして、記録する。

⑤	④	③	②	①
観察	健康	博物館	実験	印象的

まちがえた漢字は、正かきを見ながら、いねいに五回書きましょう。

月
日

小学四年国語「漢字の書き」③

年 組 名前

☆チャレンジ問題

次の——線の漢字は、一部がまちがっています。まちがっている漢字もふくめて——線全部を正しく書き直しましょう

- ① 今日の夕板は、カレーライスです。
- ② 五月の運休に、家族で旅行した。
- ③ クラブの福部長をつとめる。
- ④ 調べた給果を発表する。
- ⑤ おねに名札をつけてください。
- ⑥ 一日の労働時間は八時間です。
- ⑦ 作文を原こう用紙に晴書する。
- ⑧ じゅ業に間係ない物はしましましょう。
- ⑨ 寒さで水道官がおった。
- ⑩ 大会新記録でゆう勝した。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
新記録	水道管	関係	清書	労働	名札	結果	副部长	連休	夕飯

小学四年国語「送りがない」①

年 組 名前

一つの言葉を漢字とひらがなで書き表すとき、漢字の後につけるひらがなを「送りがない」といいます。

次の形の言葉の送りがなに注意しましょう。

★「くまる」「くめる」の形の言葉

例 休まる・休める 早まる・早める 改まる・改める

★「くしい」の形の言葉

例 楽しい 新しい 親しい 等しい 悲しい 美しい

★「くかい」「くかだ」「らかだ」の形の言葉

例 細かい 温かい 静かだ 明らかだ

★そのほか、まちがえやすい言葉

例 生はやす 赤らむ 大きい 計らう 後ろ 交まじる 自みずから
 少ない 聞こえる 用いる 向かう 表れる 味わう
 試みる 帯びる 必ず 冷やす

ポイント

★問題1

次の——線の言葉を、漢字と送りがなに直して書きましょう。

- ① 国を平和におさめる。
- ② くるしい時をのりこえた。
- ③ ゼリーをひやして固める。
- ④ こまかいことを言うな。
- ⑤ 新しい方法をこころみる。

⑤	④	③	②	①
試みる	細かい	冷やし	苦しい	治める



小学四年国語「送りがな②」

年 組 名前

☆問題2

次の——線の言葉を、漢字と送りがなに直して書きましよう。

- ① 光をあびる。
- ② 山々がつらなる。
- ③ 身をきよめる。
- ④ 残りがすくない。
- ⑤ お湯をみたす。

⑤	④	③	②	①
満たす	少ない	清める	連なる	浴びる

☆問題3

次の——線の言葉を、漢字と送りがなに直して書きましよう。

- ① はずかしさに、顔をあからめる。
- ② 友だちとおおいに楽しんだ。
- ③ みずから手本を示す。
- ④ 委員としての責任をはたす。
- ⑤ 置く場所を決めないと、部屋がちらかる。

⑤	④	③	②	①
散らかる	果たす	自ら	大いに	赤らめる

小学四年国語「漢字辞典①」

年 組 名前

漢字辞典（漢和辞典）には、三つのさくいんがついています。漢字をさがすとき、その中のどれを使ったらよいか、考えましょう。

ポイント1

漢字辞典のさくいん
音訓さくいん……読み方が五十音順になっています。
部首さくいん……部首が画数の少ないものから順になっています。
さがしている漢字の部首のページを開くと、
同じ部首の漢字が、画数順になっています。

そうかく
総画さくいん……漢字が総画数の少ないものから順になっています。

★問題1

次の漢字を、漢字辞典で調べます。三通りのさがし方を書いた①～③の文中の（ ）に、あてはまる言葉を書きましよう。



- ① （ ） さくいんを見て、八画の「門」もんがまえ」を見つけたら、そのページを開いて、六画のところをさがす。
- ② （ ） さくいんを見て、十四画の漢字の中からさがす。
- ③ （ ） さくいんを見て、音読み「カン」または訓読み「せき」のところをさがす。

③	②	①
音訓	総画	部首



小学四年国語「漢字辞典」②

年 組 名前

ポイント2

ある漢字を、漢字辞典で調べます。どのさくいんを使いますか？
 ★ 音か訓の読み方が分かっているとき↓音訓さくいん
 ★ 読み方は分からないけれど、部首が分かるとき↓部首さくいん
 ★ 読み方も部首も分からないとき↓総画さくいん

★問題2

次の漢字を漢字辞典の部首さくいんで調べるとき、どの部首の何画の漢字の中からさがしますか。部首名をあとのアくオの中から一つ選び、その記号を書きましよう。何画かは、漢数字で書きましよう。

- ① 種
- ② 連
- ③ 底

- ア きへん
- イ まだれ
- ウ のぎへん
- エ しんによう
- オ なべぶた

③	②	①	
イ	エ	ウ	部首
五	七	九	何画

★問題3

次の漢字を漢字辞典の総画さくいんで調べるとき、何画の漢字の中からさがしますか。漢数字で書きましよう。

- ① 変
- ② 票
- ③ 飛



③	②	①
九	十一	九

9

小学四年国語「漢字辞典」③

年 組 名前

★問題4

読み方がわからない次の漢字を、漢字辞典を使って調べる方法として正しいものを、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きましよう。

熊

- ア 音訓さくいんを見て、十四画の漢字の中からさがす。
- イ 部首さくいんでれんが（れっか）の漢字を見つけ、十画のところをさがす。
- ウ 部首さくいんにある十四画の漢字の中から、れんが（れっか）の字をさがす。
- エ 総画さくいんを見て、十画の漢字の中からさがす。

答え

イ



【まめ知識】
同じ部分をもつ漢字でも、部首が違うことがあります。
たとえば、次の漢字は、漢字辞典を引くと、「門（もんがまえ）」ではない部首のところに分類されています。
問・・・口（くち）
聞・・・耳（みみ）

月
日

小学四年国語「漢字辞典④」

年 組 名前

☆チャレンジ問題

次の漢字に共通する部首名を、ひらがなで書きましょう。

- ① 泣・満・浴
- ② 国・固・囲
- ③ 落・菜・芸
- ④ 順・願・類
- ⑤ 院・階・陸
- ⑥ 指・打・折
- ⑦ 刷・利・別
- ⑧ 後・役・径
- ⑨ 兄・光・児
- ⑩ 数・放・敗



⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
ぼくづくり	にんによう	ぎょうにんべん	りっとう	てへん	こぎとへん	おおがい	くさかんむり	くにかまえ	さんずい

小学四年国語「ローマ字」①

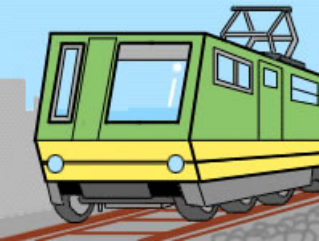
年 組 名前

三年生の教科書の最後に、ローマ字の表がのっています。
よく見て、復習しましょう。

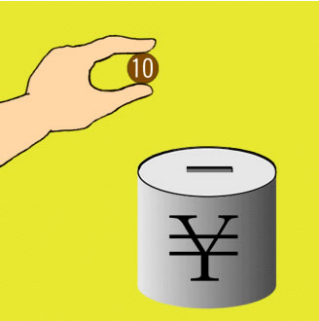
ポイント1

「きゃ」「きゅ」「きょ」などの音は、「kya」「kyu」「kyo」のように、3字で書き表します。

例



densya



tyokinbako
または
chokinbako

★問題1

例を参考にして、①～③の言葉をローマ字に直して書きましょう。

例

百円
(ひゃくえん)
↓
hyakuen

① 山脈
(さんみゃく)
答 ↓
sanmyaku

② 魚類
(ぎょるい)
答 ↓
gyorui

③ 挙手
(きょしゅ)
答 ↓
kyosyu

月
日

小学四年国語「ローマ字」②

年 組 名前

ポイント2

つまる音は、「コップ」→「koppu」のように、次の音のはじめの文字を重ねて書き表します。

例



nikki



batto

☆問題2

例を参考にして、①②③の言葉をローマ字に直して書きましょう。

例

切手
(きって)
↓
kitte

① 熱帯
(ねったい)
答 ↓
nettai

② 折半
(せっぱん)
答 ↓
seppan

③ 実験
(じっけん)
答 ↓
zikken

月
日

小学四年国語「ローマ字」③

年 組 名前

N
o.
12

☆問題3

例を参考にして、①②③の言葉をローマ字に直して書きましょう。

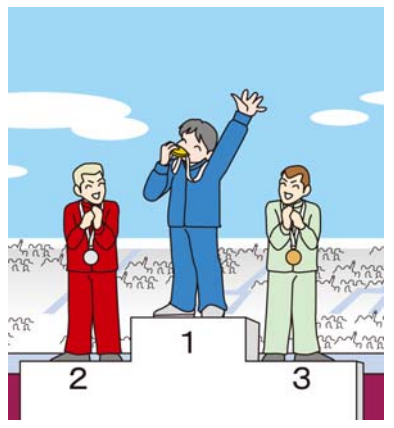
例

八百
(はっぴやく)
↓
happyaku

①作曲
(さっきょく)
答 ↓
sakkyoku

②出発
(しゅっぱつ)
答 ↓
syuppatu

③一着
(いっちやく)
答 ↓
ittyaku



小学四年国語「熟語の構成①」

年 組 名前

二字以上の漢字の組み合わせでできた言葉を、「熟語じゆくご」といいます。
 熟語の漢字それぞれの訓読みを手がかりにして、熟語の意味や組み立てを
 考えてみましょう。

ポイント

- 熟語には、次のような漢字の組み合わせでできたものがあります。
- ① 似た意味をもつ漢字の組み合わせ 例 救助(救う・助ける)
 - ② 反対の意味をもつ漢字の組み合わせ 例 明暗(明るい・暗い)
 - ③ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ 例 白紙(白い紙)
 - ④ 下の漢字から上の漢字へ意味が続く関係にある組み合わせ 例 読書(書物を読む)
 - ⑤ 同じ漢字の組み合わせ 例 人々
 - ⑥ 上に「不・非・未」をつけて、下の漢字を打ち消す関係にある 例 未定(まだ定まらない)

★問題1

次の熟語は、どのような漢字の組み合わせでできていますか。右のポイントの①～⑥の中から一つずつ選び、下の()に番号を書きましよう。

- 起立 (①) 不足 (⑥) 登山 (④)
 勝敗 (②) 青々 (⑤) 右折 (③)



月 日

小学四年国語「熟語の構成」②

年 組 名前

★問題2

次の①～③にあてはまる熟語を、後のア～ケの中から二つずつ選び、その記号を書きましよう。

- ① にた意味をもつ漢字の組み合わせ
- ② 反対の意味をもつ漢字の組み合わせ
- ③ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ

③	②	①
イ	オ	ア
ケ	カ	キ

- ア 絵画 イ 愛犬 ウ 決心
- エ 不便 オ 売買 カ 進退
- キ 加入 ク 堂々 ケ 流星

★問題3

次の熟語の中には、ほかの熟語と漢字の組み合わせ方がうものがあります。ア～エの中から一つ選び、その記号を書きましよう。

- ア 土地
- イ 未知
- ウ 道路
- エ 岩石

答え

イ



/ 7

月
日

小学四年国語「熟語の構成」③

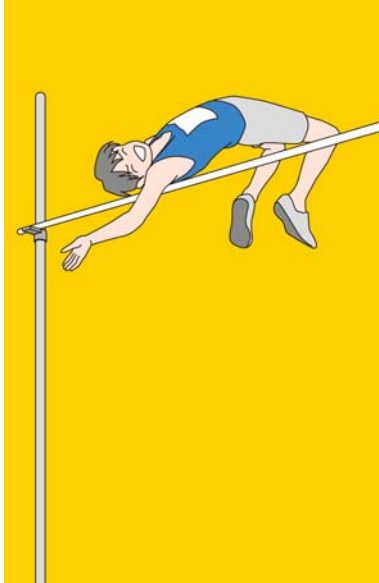
年 組 名前

チャレンジ問題

次の①～⑤の漢字に、反対の意味をもつ漢字を組み合わせてできる熟語を書きましょう。

- ① 高
- ② 生
- ③ 短
- ④ 近
- ⑤ 重

⑤	④	③	②	①
軽重	遠近	長短	生死	高低



小学四年国語「物語文の読解」①

年 組 名前

次の文章を読みましよう。

ある日、クリスマスは祖父の家で、そりくりかえって腹をつき出し、かかどで調子をとりながら、部屋の中をぐるぐるまわっていた。自分で作った歌をやってみながら、気持ちが悪くなるほどいつまでもまわっていた。祖父はひげをそっていたが、その手をやすめて、しゃぼんだらけな顔をつき出し、かれの方をながめて言った。

「何を歌ってるんだい。」

クリスマスは知らないと答えた。

「もう一度やってみよう。」と祖父は言った。

クリスマスはやってみた。だが、どうしてもさっきの節が思い出せなかった。でも、祖父から注意されてるのに得意になり、自分のいい声をほめてもらおうと思って、オペラのおずかしい節を自己流に歌った。しかし祖父が聞きたいと思ってるのは、そんなものではない。祖父は口をつぐんで、もうクリスマスに取りあわないふうをした。それでもやはり、子供がとなりの部屋で遊んでいる間、部屋の戸を半分開放しにしておいた。

それから数日後のこと、クリスマスは自分のまわりにいすをまるくならべて、しばいへ行った時のきれぎれな思い出をつなぎあわせて作った音楽劇を演じていた。まじめくさった様子で、しばいで見た通り、メヌエットの節にあわせて、テーブルの上にかかっているベートーヴェンのしょうごうに向かい、ダンスの足どりや敬礼をやっていた。そしてつまさきでぐるっとまわって、ふりむくと、半開きのドアの間から、こちらを見ている祖父の顔が見えた。祖父に笑われているような気がした。たいへんきまりが悪くなって、ぴたりと遊びをやめてしまった。そして窓のところへ走っていき、ガラスに顔をおしあてて、何かをむちゅうでながめてるようなふうをした。しかし、祖父は何とも言わないで、かれの方へやって来てだいてくれた。クリスマスには祖父が満足しているのがよくわかった。かれは小さな自尊心から、そういう好意がうれしかった。そしてかなり機びんだだったので、自分

小学四年国語 「物語文の読解 ②」

年 組 名前

がほめられたのをさどった。けれども、祖父^③が自分のうちの何を一番ほめたのか、それがよくわからなかった。[※] ぎ曲家としてのオのうか、音楽家としてのオのうか、歌い手としてのオのうか、またはぶよう家としてのオのうか。かれはその一番おしまいのものだと思いたかった。なぜなら、それをりっぱなオのうだと思っていたから。

(ロマン・ローラン作、豊島与志雄訳『ジャン・クリストフ』より)

※オペラ……歌劇。

※メヌエット……ヨーロッパのおどりの曲の一つ。

※自尊心……自分を大切にする気持ち。

※機びん……判断や行動がすばやい様子。

※ぎ曲……劇の台本。

※ぶよう……おどり、ダンス。



小学四年国語 「物語文の読解」③

年 組 名前

ポイント

- ★ 次のことに注意しながら、もう一度ていねいに文章を読みましよう。
- ★ 場面の移り変わり……時間や場所の変化
- ★ 主人公であるクリストフの行動、気持ち
- ★ 主人公以外の登場人物（祖父）の行動、気持ち

★問題1

この文章を大きく二つに分けるとき、後半のはじめの七字を書きぬきましよう。
読点（、）も字数にふくめます。

答え

そ
れ
か
ら
数
日
後

★問題2

――部①「子供がとなりの部屋で遊んでいる間、部屋の戸を半分開放しにしておいた」とありますが、祖父はなぜそうしたのですか。次のア～エの中から一つえらび、その記号を書きましよう。

- ア クリストフが歌ったら聞きたいと思ったから。
- イ クリストフを一人で放っておくと危ないと思ったから。
- ウ クリストフがぐるぐる回っていたら注意しようと思ったから。
- エ クリストフが自分を呼ぶかもしれないと思ったから。

答え

ア

★問題3

――部②「何かをおちゅうでながめてるようなふうをした」とありますが、クリストフはなぜそうしたのですか。次のア～エの中から一つえらび、その記号を書きましよう。

- ア 祖父にしかられると思ったから。
- イ 祖父に話しかけられなくなかったから。
- ウ 祖父に笑われたようで、はずかしくなったから。
- エ 祖父にほめてもらえるのが分かっていたから。

答え

ウ

/ 3

月
日

小学四年国語「物語文の読解」④

年 組 名前

★問題4

―部③「祖父^{そふ}が自分^{おのれ}のうちの何を一番ほめたのか、それがよくわからなかった」とありますが、文章全体から考えて、祖父^{そふ}はクリストフの何を一番ほめたのでしょうか。次のア～エの中から一つえらび、その記号を書きましょう。

- ア ギ曲家としての才のう
- イ 音楽家としての才のう
- ウ 歌い手としての才のう
- エ ぶよう家としての才のう

答え

イ



1

小学四年国語 「説明文の読解」①

年 組 名前

次の文章を読みましよう。

わたくしたちの祖先は、七〇〇万年から五〇〇万年も前にアフリカで誕生しました。二足歩行が引き金になって、脳が大きくなり、文化を発展させ、つねに新たな生きかたを追い求めてきました。直接の祖先である新人は、アフリカで二〇万年くらい前に誕生しました。①、農耕がはじまる前に、ヨーロッパとアジアだけでなく、オセアニアとアメリカにもわたり、地球の広域にすむようになったのです。

人間はかきこい動物です。いつでも自分たちの生活を便利にしたいと考え、多くのことを実現してきました。農耕を發明し、文明をつくり、産業革命を開始しました。長生きになり、人口もふえました。人びとの生活が便利になるスピードも、以前とはくらべものになりません。しかし、地球環境にかける負荷も大きくなってきました。このまま、わたくしたちが望む生活をつづけると、地球環境のバランスがくずれ、結局はわたくしたちが生きることさえむずかしくなるかもしれません。

資源のことを考えてみましょう。わたくしたちは、一度つかうとともに戻らない資源にたよる生活をしています。石炭や石油は、もうずいぶんつかってしまいました。鉄、金、銀、銅、鉛などの金属も、埋蔵量には限度があります。一度つかうとともに戻らない資源にたいして、二つの解決方法があります。

第一の方法は、何度もつかえる資源の利用にかえることです。たとえば、エネルギー源として、風力や太陽エネルギーをつかうのです。最近では、大型で効率がよくなった風車がつくられ、太陽エネルギーを利用した発電装置もつくられるようになってきました。これらの技術がさらに進み、広く利用されることが期待されます。

第二の方法は、一度つかうとともに戻らない資源からつくられる消費財を、いくどとなく利用することです。これが、資源のリサイクルや再生利用です。リサイクルや再生利用のために、身近にできることがあります。②

小学四年国語 「説明文の読解」②

年 組 名前

として利用できるものがたくさんあるからです。

※生態系については、わからないことがたくさんあります。地球は、数多くの植物と動物がすむ巨大なシステムです。ところが、地球上にどのくらいの種類かんきょうの植物と動物が生きているのかも、正確にはわかっていません。地球環境かんきょうが変化すると、植物や動物の生活がどのように影響えいきょうされるかは、もっとわかっていません。③わたくしたちは、地球上のさまざまな生態系せいたいけいがどのようにいかにつくられているかを、もっと知らなくてはならないのです。

(大塚柳太郎『地球に生きる人間―その歩みと現在―』より)

※負荷ふか……負担。

※生態系せいたいけい……ある区域の植物や動物と、それらをとりまく環境かんきょうの全体。



小学四年国語 「説明文の読解」③

年 組 名前

ポイント

次のことに注意しながら、もう一度ていねいに文章を読みましよう。

- ★前の文と後の文は、どのような関係でつながっていますか。
- ★前の段落と後の段落は、どのような関係でつながっていますか。

たとえば、「前が後の理由になっている」「前と後で反対の内容をのべている」「前と後は同じようになっている」「後が前の説明になっている」といったことを考えながら読み進めます。

★問題1

の中に当てはまる言葉を、次のア～エの中から一つ選び、その記号を

書きましよう。

- ア ですから
- イ そして
- ウ しかし
- エ つまり

答え

イ

★問題2

――部①「つねに新たな生きかたを追い求めてきました」とありますが、わたくしたちの祖先そせんがそうしてきたのは、なんのためですか。第二段落（人間はかしこいくむずかしくなるかもしれない。）中の言葉を使って、「くするため。」という形で書きましよう。

答え

自分たちの生活を便利に

するため。



小学四年国語 「説明文の読解」④

年 組 名前

★問題3

―部②「ごみを大事にすることです」とありますが、筆者がそう考える理由を、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きましよう。

- ア ごみによって地球環境のバランスがくずれると、わたくしたちが生きる事がむずかしくなるかもしれないから。
- イ 技術が進めば、ごみをエネルギー源とした発電装置をつくれるようになるかもしれないから。
- ウ ごみを資源として再生利用すれば、一度つかうとともに戻らない資源をつかう量を減らすことができるから。
- エ ごみをすると、地球環境が変化して、植物や動物が生活する生態系に悪い影響をあたえるから。

答え

ウ



★問題4

―部③「わたくしたちは、地球上のさまざまな生態系がどのようなようにつくられているかを、もっと知らなくてはならないのです」とありますが、筆者がそう考える理由がわかる一文を、第一段落～第三段落（わたくしたちの祖先は二つの解決方法があります。）の中からさがし、最初と最後の五字を書きぬきましよう。読点（、）と句点（。）も字数にふくめます。

答え

最初
こ
の
ま
ま
ま
、

最後
れ
ま
せ
ん
。

月
日

小学四年国語 「説明文の読解」⑤

年 組 名前

チャレンジ問題

あなたは、あきかんをリサイクルに出すことは何のためだと思いますか。問題文をふまえて、五十字以内で説明しましょう。説明の中に、「かん」「資源しげん」という二つの言葉を必ず入れてください。読点（・）と句点（。）も字数にふくめます。

解答例

源	り	つ	と	か
を	サ	く	に	ん
守	イ	ら	戻	は
る	ク	れ	ら	一
た	ル	て	な	度
め	に	い	い	つ
。	よ	る	資	か
っ	か	源	う	
て	ら	か	と	
資	、	ら	も	



小学四年国語 「文末のそろえかた」①

年 組 名前

文章を書くときには、文末の書き方をそろえるように注意します。

ポイント

★ 「くです。」 「くます。」 ・ ・ ・ ていねいな言い方

★ 「くである。」 「くだ。」 「くだ。」 ・ ・ ・ ふつうの言い方

文章を書くときには、ていねいな言い方とふつうの言い方がまじらないようにします。

★問題1

次の文の——部を、ふつうの言い方に直して書きましょう。

① 買い物に行きます。

② 買い物に行きました。

③ 買い物に行きましよう。

④ 買い物に行ってください。

⑤ おもしろい本です。

⑥ おもしろい本でした。

⑦ おもしろい本がありません。

⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
ない	本だった	本だ	行ってくれ	行こう	行った	行く



月
日

小学四年国語 「文末のそろえかた」②

年 組 名前

No. 26

★問題2

次の文の——部を、ふつうの言い方に直して書きましよう。

- ① 多いと思います。
- ② 会を開くことにしました。
- ③ いっしょに勉強しましう。
- ④ おこるわけにもいきません。
- ⑤ 仕事を続けてください。

⑤	④	③	②	①
くれ	いかない	勉強しう	した	思う

★問題3

次の文を、——線部に注意して、ふつうの文に書き直しましう。

- ① できましたら今週中に持って来てください。

答え

できたら今週中に持っ	て来てくれ。
------------	--------

- ② たいへんな作業ですが、働いている人は少ないようです。

答え

たいへんな作業だが、働	いている人は少ない	ようだ。
-------------	-----------	------